

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建物の「湿害」に関する学会規準小委員会		主 査 名：高田 暁 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：久野 覚
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・(2011 年度) これまでの WG 活動により作成された建物の湿害に関する学会規準ドラフトを完成させ、シンポジウムを開催する。 ・(2012 年度) パブリックコメントの収集と、それへの対応を行い、本学会規準の出版ならびに講習会を行う。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：2011 年 4 月に実施済み		
	主査：高田暁 (神戸大) 幹事：伊庭千恵美 (京都大)、今仲雅之 (大和ハウス) 委員：安福勝 (近畿大)、岩前篤 (近畿大)、小椋大輔 (京都大)、尾崎明仁 (京都府立大)、小早川香 (日本建築総合試験所)、権藤尚 (鹿島建設)、齋藤宏昭 (足利工業大)、佐藤真奈美 (大阪工業大)、埴淵晴男 (積水ハウス)、本間義規 (岩手県立大)、林禎彦 (大建工業)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s29/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 『建物における湿害の診断と対策に関する規準・同解説』
講習会	1. 講習会「建物における湿害の診断と対策に関する規準・同解説」 参加者数 116 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 『建物における湿害の診断と対策に関する規準・同解説 (案)』に対するパブリックコメント (2012 年 4 月 2 日～23 日)
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 活動計画通りの内容を実施した
委員会活動の問題点 ・課題	

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画していた通りの活動を行った。 ・ 2年間で10回の委員会を開催し、委員会以外にも出版に向けた作業を活発に行ったという意味では、当初の計画以上の密度で活動を行ったとも言える。 ・ 学会規準を計画通りのスケジュールで出版した。 ・ 初年度に行ったシンポジウム、最終年度に行った出版時の講習会においては、研究者だけでなく、多くの実務者の参加を得た。合計の参加者数は、シンポジウム 50 名、講習会 116 名であった。 ・ 委員会のホームページを開設し、湿害の事例に関する公募を行った。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。